



10/29

## 東部まつりと秋の夜空を彩る大花火

「東部はひとつ」という理念のもと、東部地区11自治会を中心に地域の企業等が一体となって運営する「東部まつり」が、県総合運動公園多目的広場で開催されました。

会場には、雑貨マルシェ・体験コーナーやキッチンカーエリアなどが設けられ、まつりのメインとなるステージではキッズダンスや民踊、古謝獅子舞、泡瀬復興期会会による太鼓灯籠など、地元ならではのパフォーマンスで会場は大いに盛り上がりました。

まつりの後には、中城湾港泡瀬地区の埋立事業地「潮乃森」の周知を図ることを目的に、約1,000発の大輪の花火が打ち上げられ、澄みきった秋の夜空を華やかに彩りました。

潮乃森大花火の動画は、YouTubeからご覧いただけます。



▲動画視聴 (YouTube)



11/2

## 地域の力を結集した防災訓練

沖縄市地域防災計画に基づき、大規模地震・津波の発生を想定した訓練を通して、市民及び市職員の地震・津波に対する防災意識の啓発や防災体制の向上を図ることを目的に、沖縄市防災訓練が行われました。

市高原にある愛の泉保育園では、園独自の津波災害防災計画を定めており、高原自治会や自主防災組織、民生委員・児童委員、地域の企業や団体の避難支援を受け、全園児が津波の到達予想時刻前に避難所の高原公民館へ避難することができました。

市役所では、職員によるシェイクアウト訓練や安否確認訓練、防火体制の充実強化を目的とした消防訓練などが行われました。



10/15

## 福祉まつり一番街で開催される

市内の福祉団体が連帯・協力を深め、地域福祉の増進を図ることを目的に2023沖縄市福祉まつりが、一番街商店街及びその周辺地域で行われました。

特設ステージでは、「トイレを中心としたまちづくり」と題して、車椅子トラベラー三代達也さん、車椅子女子まきのみほ.さん、バリアフリーネットワーク会議代表親川修さんによるスペシャルトークセッションが開催され、「トイレを中心としたまちづくりをすれば、きっと選ばれるまちになる」として、整備の重要性が示されました。

アーケード内には、約30団体が出展し、手作りの品や飲食物の販売、パネル展示などを行い、行き交う人が足を止めて楽しみました。

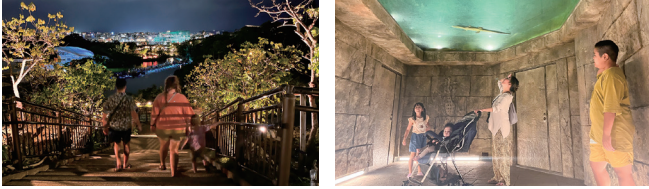


10/1~30 **こどもの国がライトアップ『NIGHT ZOO』**

沖縄こどもの国では、令和6年度以降に実施予定の「夜の動物園」に向けた社会実験として、10月中は休園日の火曜日を除いて夜まで動物園を開園しました。

園内は水上園路などがライトアップされ、夜ならではの幻想的な風景。動物エリアでは動物たちの生態や個体ごとに配慮した展示が行われ、日中は寝ていることが多いライオンも凛々しく座り、うなり声を上げたりと活発に活動していました。

沢山の来場者が訪れ、昼間とは違う動物園を楽しみました。



10/21 **人生100年時代、歯のケアで健康に**

「人生100年、歯とともに!」と題して、中部保健所に所属する歯科医師の与那嶺亮氏による沖縄市健康づくり講演会が、市役所地下2階大ホールで開催されました。

講演では、歯を失う原因で最も多いのは歯周病で、虫歯よりも多く、歯周病を放置すると、認知症や呼吸器疾患、糖尿病など全身の健康への影響が懸念されることが紹介されました。

具体的な歯のケアとして、歯磨きに加えて、デンタルフロスを使用するホームケアを基本とすることや、かかりつけ歯科医院で、定期的に健診を受けることが推奨されました。



10/28~29 **車いすラグビーで全国出場決定**

「第25回車いすラグビー日本選手権予選沖縄大会」が市体育館にて行われました。ブリッツ(東京)、沖縄ハリケーンズ(沖縄)、ウェーブス(大阪)が総当たりで各2試合ずつ対戦し、1位のブリッツ及び2位の沖縄ハリケーンズが来年1月開催の日本選手権出場を勝ち取りました。同大会の沖縄での開催は15年ぶり。

沖縄ハリケーンズの仲里進監督兼選手は「地元の応援がたくさんあり、すごいパワーになった。沖縄で大会を開催できてよかった」、沖縄工業高校3年生の奥原悠介選手は「日本のすごいメンバーたちと戦えるような選手になっていきたい」と話しました。



10/30 **秋の運動会に1,000人が参加**

高齢者の健康増進と交流を深める場にしようと「第28回沖縄市老人クラブ運動会」が5年ぶりに行われ、沖縄アリーナを会場に市内30の老人クラブから約1,000人の会員が出場しました。

大人数での「老人クラブの唄」「肝がなさ節」の総踊りではじまり、スプーンリレーやバスケットボールシュートチャレンジなど熱気に溢れ、「チバリヨー!」と熱心な応援が繰り広げられました。仮装行列では様々な衣装に身を包み、会場内を笑いで盛り上げ、楽しくスポーツの秋を満喫しました。



11/2 **親子料理教室「酪農体験」**

幼児期・学童期の子ども達が、食と命の大切さ・料理の楽しさを体験し、家庭の食育に繋げることを目的とした、親子料理教室「酪農体験」が開催されました。倉敷の高宮城牧場で、牛の乳しぼり・えさやり・牛のトリミングや牛とのふれあいなどを体験した後、沖縄市福祉文化プラザへ移動し、県産の牛乳を使ったメニューのデモンストラクションや、バター作りなどにチャレンジし、試食を行いました。

参加した親子は「実際に来ないと体験できないことがたくさんあり、良い経験ができた」と笑顔を見せました。



特集

市政トピックス

連載コラム

市民カレンダー

おでかけカレンダー

おしらせ



10/10~16 赤い羽根共同募金のパネル展

市役所1階の市民ロビーにて、赤い羽根共同募金運動の周知啓発を目的としたパネル展が開催されました。

パネル展では、「つながりをたやさない社会づくり～あなたは一人じゃない～」をテーマに、赤い羽根共同募金の概要や、集まった募金の使い道、募金を受けた団体からのお礼のメッセージ等が掲示され、展示に興味を持つ市民の姿が見られました。



10/16 「バスケットボール史上語り継がれる試合」

今夏に沖縄アリーナにて開催された「FIBAバスケットボールワールドカップ2023」大会報告のため、一般社団法人 日本バスケットボール協会の三屋裕子会長らが桑江市長を訪ねました。

三屋会長は「バスケットボール史上一番語り継がれる試合となった。子ども達にとっても、ワールドカップが行われた会場で試合ができることは喜ばしい」と感謝を示しました。



10/17 人命救助 ホテルスタッフへ感謝状

市内の宿泊施設「オキナワグランメールリゾート」で7月17日に発生した救急事案の人命救助により、フロントスタッフの砂川咲さんと、保安スタッフの玉山大士さんに沖縄市から感謝状が贈呈されました。

砂川さんと玉山さんは、心肺停止状態にあった宿泊者の40代男性に対し、救急隊の要請・AEDを使った心肺蘇生法の実施・救急隊誘導と一連の迅速な救命処置行動を行い、男性を社会復帰へと導きました。



10/19 真に子どもの幸せにつながる子育て

家庭教育の向上をねらいとした「令和5年度子育て講演会」が沖縄市民会館中ホールで開催されました。

株式会社沖縄発達支援研究センター代表及び株式会社おきなわedu取締役の金武育子氏が講師を務め、人を伸ばす力、モチベーションと自己回復力、生き抜く力などについて、ご家族のエピソードを交えながら講演を行いました。



10/21 シルバーの力でまちを美しく

シルバー人材センターでは、10月を「シルバー人材センター事業普及啓発促進月間」として、同センターの事業の普及啓発等の取り組みを行っています。

その一環として、10月第3土曜日の「シルバーの日」に合わせ、美化清掃がコザ中学校と沖縄東中学校周辺で行われ、会員らが約1時間かけて、学校周囲のごみを拾い、美化活動に汗を流しました。



10/21~22 バスケで再び沸く沖縄アリーナ

沖縄アリーナにて「第2回沖縄アリーナカップ」が開催されました。U12大会や第4回沖縄県U15バスケットボール選手権大会、第66回沖縄県高等学校バスケットボール選手権大会が行われ、県内各地から集まったチームが熱戦を繰り広げ、会場を盛り上げました。

高校男子決勝では美来工科高校が興南高校を破り、2年ぶり10度目の頂点に立ちました。



8/6~10/14 **第59回沖縄県身体障害者スポーツ大会**

8月から10月までの約2か月間「第59回沖縄県身体障害者スポーツ大会」が開催されました。視覚、聴覚、肢体等の障害別に分かれ、アーチェリー、水泳、フライングディスク、卓球、陸上科目で地区ごとに競い合いました。

各選手は日頃の練習の成果を存分に発揮し、沖縄市地区の選手らは、団体対抗競技では金メダルを8個獲得。全14地区中、第6位となりました。



10/30 **地域の子育て応援団!50周年記念**

市の母子保健事業と市民とのパイプ役を担う沖縄市母子保健推進員協議会の「50周年記念式典・祝賀会」が沖縄市民会館中ホールで開催されました。

記念式典では母子保健推進員への感謝状贈呈や50周年記念講演、祝賀会では母子保健推進員協議会の活動や取り組みのスライドショー上映や琉球舞踊などが披露されました。



11/2 **銀天街を舞台にした映画**

銀天街を舞台に制作された映画「コザママ うたって!コザのママさん!!」の中川陽介監督、出演者の上門みきさん、畠山尚子さん、新垣美竹さん、jimamaさんらが、市役所を訪れ、桑江市長に映画の完成について報告しました。映画は、夢を追い明るくたくましく生きる女性たちと、それを支える家族と仲間たちの物語。

「笑って笑って最後ちょっと泣かせる映画」(中川監督)です。



10/26 **B.LEAGUE ALL-STAR GAME開催決定!**

B.LEAGUEの島田慎二チェアマン、沖縄バスケットボール株式会社の白木享代表取締役社長らが、市役所を訪れ「B.LEAGUE ALL-STAR GAME WEEKEND 2024 IN OKINAWA」を令和6年1月12日から14日までの3日間、沖縄アリーナを中心に初開催することを桑江市長に報告しました。

島田チェアマンは「ようやく沖縄での開催が叶います。オールスターゲームをしっかりと盛り上げていきたい」と熱を込めました。



11/1 **チーム一丸、全国大会へ**

美東中学校野球部の部員らが市役所を訪れ、10月に行われた「第15回全日本少年春季軟式野球大会ENEOSTーナメント沖縄県予選」において優勝し、来年3月に行われる全国大会へ県代表として出場することを報告しました。

キャプテンの大城飛斗さんは「全国大会でもチーム一丸となり優勝を目指して頑張る」と意気込みました。来庁した部員13人で元よくチームの応援歌も披露しました。



11/3 **耳で愉しむ文学の世界**

文化の日に「大人のための朗読会 ～舞台朗読 耳で愉しむ文学の世界～」が、市立図書館のまなびの部屋で開催されました。

『髪ざがり』(山本周五郎著)、『くじけないで』(柴田トヨ著)、『葉桜と魔笛』(太宰治著)が稲嶺逸子氏(沖縄可否の会、朗読の会ぱびぱべぼ)ら3人の朗読者により朗読されました。会場には約90人の市民が訪れ、心の動きが巧みに表現された文学の世界を味わいました。



特集

市政トピックス

連載コラム

市民カレンダー

おでかけカレンダー

おしらせ



11/5 美ら里、北部地域を盛り上げる祭り

沖縄市北部地域の6つの自治会が中心となり「第11回美ら里まつり」が沖縄市農民研修センターにて開催されました。

美里中吹奏楽部の演奏、子ども会による演舞、各青年会によるエイサー、老人会や各団体による多彩なプログラムが披露され、強い団結力と地域への誇りが詰まった、見ごたえのある祭りとなりました。



11/6 ブラジルと沖縄の架け橋に

沖縄市海外移住者子弟研修生受入事業として、ブラジルから安里嗣明リカルドさんが研修生として来沖しており、11月1日から1か月半、市内で研修を行います。同事業は、海外移住者の居住国の発展に貢献しうる人材の育成、国際交流推進を目的としており、研修生はうちなーぐち、三線等を学び、エイサー体験、沖縄国際カーニバルなどのイベント視察等を行います。

安里さんは「研修で学んだことをブラジルへ広め、ブラジルと沖縄の架け橋になりたい」と意欲を見せました。



～寄付・寄贈等～ 皆さまのご厚意に感謝申し上げます。 寄付金等贈呈式を行った皆さまをご紹介します。いただいた寄付金等は、有効活用いたします。

10/31 明治安田生命保険相互会社 (沖縄支社長 川腰 藤雄) 寄付金14万3,500円(認可外保育園へ図書)の寄贈)



11/11 みかさリアルエステート株式会社(代表取締役 下石 ひとみ) 企業版ふるさと応援寄付金として (沖縄こどもの国整備に関する事業へ) 寄付金50万円



11/1 有限会社近代防災工業 (代表取締役 大庭 政智) 沖縄市育英会へ 寄付金50万円



11/11 アクア防災工業株式会社 (代表取締役 座間味 和哉) 沖縄市育英会へ 寄付金50万円



11/6 中部興産株式会社 (代表取締役社長 新垣 貴雪) 沖縄市育英会へ 寄付金100万円



11/7 沖縄ビル・メンテナンス株式会社(代表取締役社長 幸地 均) 企業版ふるさと応援寄付金として (沖縄こどもの国整備に関する事業へ) 寄付金100万円

